

戸田康之さん『CODA（コーダ）』

戸田です。サインネームではこのように表します。よろしく。

今日のお話は「CODA（コーダ）」についてです。

CODA って知っていますか？親がろう者で、その親から生まれた聴者の子どものことを言います。私は、ろう者の妻と結婚して、聴者の子どもが3人います。つまり、私の子どもはCODAということになります。

私の家の中はろう文化の生活です。なので、CODA の子どもたちにもろう文化が身についています。例えば人を呼ぶとき、聴者の場合は声で呼びかけますよね。ろう者の場合は肩を叩いて人を呼びます。また、机を叩いたり、床を踏み鳴らして呼ぶこともあります。CODA もそのろう文化のやり方が身についています。親である私を呼ぶときは、声で呼ばずに肩や机を叩きます。それ以外でも、どこかへ出かける時に、聴者の子どもは「行ってきまーす！」と声をかけるだけで出ていきますし、帰宅したときも「ただいま！」と言うだけです。でも、子どもたちは、私が声では分かりませんから、私のところまで来て「友達と遊びに行ってくる」とか「買い物に行ってくる」などと面と向かってきちんと用件を言うてから出かけていくんです。

それは、外に出るときだけではなくて家の中でも同じなんです。「トイレ」と言うてからトイレに行ったり、「自分の部屋に行くね」と言うてからその場を離れたり、というように報告してから行動するようになっていて、CODA にはろう文化が備わっているんです。

ですが、今、私がどうしても困っていることが1つあるんです。それは、夜寝ている時です。子どもがまだ小さかった頃、トイレに行きたくなると起こされてトイレについて行ったりしていましたが、中学生になった今もその癖が抜けないんです。家にいるときはトイレに行くことを伝えてからトイレに行くというのが習慣になっていますが、夜中寝ている時にも、もう中学3年にもなる息子がわざわざ寝ている私を起こして「トイレ」と私に伝えてから自分でスタスタ用を足しに行くんです。夜必ずトイレに起こされます。自分1人でトイレに行くのにわざわざ私を起こすのです。

一度ついた癖というのはなかなか抜けないものだなと思いつつも、CODA だからこそこんなろう文化が身についたのかとも思いつつも、面白いです。